

5 校長の姿勢・公約 約束します

学校経営の組織化	○全職員が経営参画できる組織体制の構築	○石垣のような同僚性の醸成
	○付加価値を付けた職務姿勢への転換	
人権尊重の理念の涵養	○基本的な人権感覚の育成	○人格を尊重するために、姓に敬称を付ける
	○児童に寄り添った挨拶の励行	○児童の人格を認める人権教育の推進
確かな学力の向上	○ユニバーサルデザインに基づく授業の改善	○授業観察と指導の充実
	○学力PTによる授業改善推進プランの改善	○週毎の指導計画の改善
	○学校図書館活用による言語活動の充実	○特別支援教育の充実
安全管理・危機管理の徹底	○安全を全てに優先させる体制の強化	○緊急時対応の構築
	○責任を明確にした職務の遂行	○安全管理の徹底
地域とともにある学校づくり	○情報の多面的な発信	○PTA、地域等との連携
	○保護者・地域の声の反映	○学校関係者評価の充実
ライフ・ワーク・バランスの推進	○勤務時間等の管理徹底（定時退勤、年休取得等の促進）	
	○校務の効率化、職務の精選	○イクボス宣言
人材育成	○学校・教員の財産となる校内研究の推進	○研修への参加意欲の向上
	○教員相互の間の目的に応じた授業参観	○キャリアプランの形成
服務規律の徹底	○法令等に基づいた服務の厳正	特に、体罰
	○校内体制・校内規定等の整備	特に、個人情報情報の紛失

校長の務め

公約

校長は職員のために存在する 何ができるかを常に考え実践する

校長の姿勢	○勤務校を愛し、職員を大切にする。 ○率先垂範の姿勢を大切にする。 指示命令も必要だが、校長自らが動くことも必要。
校長の日常	○情報収集を怠らない。校長の判断ミスは致命傷である。 ○朝、校長は玄関で子供を迎える。 教員は教室で子供を迎える。 明るくあいさつ、はつらつとした姿勢で1日を始める。 ○給食は子供と一緒に食べ、子供一人一人を見つめる。 ○教員や子供から声をかけられたら、すぐ対応する。 「後で」「ちょっと待って」は言わない。 ○校長の思いを常に発信し、職員室での話題の質を向上させる。 教職員向けに、校長だよりを適時発行する。 保護者・地域向けに、校長通信（家庭教育通信）を毎月発行する。
授業観察	○1日1回、必ずどの教室にも顔を出すようにする。 その都度、各学級の様子、学習内容等を簡単に記録しておく。 ○全教員、年間6回以上のテーマ別に授業観察を行う。 授業後、良かったことを含めて指導・助言する。
対応・記録	○報告・連絡・相談を待つのではなく、自らアンテナを高くする。 ○問題と感じたことは、最優先で対応する。初期対応がすべて。 ○全校で共通理解するために、夕会を行う。 気になる子供を話題にすることを常とする。 ○記録を日常化し、保護者対応・事故報告等は共有する。 校長が関わったことは必ず記録に残す。
服務	○服務に関わることは繰り返し述べる。 職員の服務事故はすべて校長の責任である。